

インドのスタートアップ・エコシステム概観

2021年12月7日



リブライトパートナーズ株式会社

リブライパートナーズとは**インド・東南アジア地域のテクノロジー分野に特化**したアーリーステージ投資ファンドを**日本人とインド人のハイブリットチーム**で運営するベンチャーキャピタルファームです

会社概要

社名: Rebright Partners Pte. Ltd. (日本社名 リブライパートナーズ株式会社)

代表者: 蛸原 健

E-mail: info@rebrightpartners.com

リブライパートナーズの特長

- シンガポール本社 インド/バンガロール 日本/東京の**3カ国に常駐チーム体制**
- **日本人とインド人2名ゼネラルパートナー体制** その他チームも**インド・日本混成**
- 2011年よりアジア諸国で投資開始、4本のファンドを運用中
 - ・ Batavia Incubator : インドネシア現地企業とのJVファンド
 - ・ リブライ1号: 東南アジア投資ファンド
 - ・ リブライ2号 及び 3号: インド及び東南アジア
 - ・ リブライ4号: インド及び東南アジア
- 過去LP(ファンド組合員)の約50社(名)は政府系機関・日本の上場企業やファミリーオフィス中心

当社の運営するファンド通算で、インドとASEAN主要5カ国における投資実績を有します。

インド			
 medikabazaar™ <small>...future of medical supplies</small>	インド首位の病院向け購買プラットフォーム	 Jiffy.ai	ワークフローやソフトウェア開発用RPA
 MediBuddy	インド首位のオンライン診断	 YOLO <small>Flight on Wheels</small>	都市間バスのアグリゲーションサービス
 LETS TRANSPORT	インド大手のラストマイル物流	Numocity	EV充電ングステーション向けSaaS
 inshorts <small>crowd information</small>	インド最大ニュースアプリ、動画アプリ	CLICKPOST	Eコマース向け物流管理ダッシュボード
 kitaki	フィンテック向けeKYC	 EGG0Z	養鶏卵業者向けIoT プラットフォーム
 VIROHAN <small>Institute of health & management sciences</small>	医療従事者向けEdテック	ASEAN	
 Uncanny Vision	エッジデバイス向けコンピュータビジョン	 Bukalapak.com	インドネシア大手Eコマース
 αICs	AI処理半導体デザイン	 Qraved	インドネシア首位レストラン検索サービス
 ADORI <small>REIMAGINING AUDIO</small>	ポッドキャスト向け音声メタタグ技術	 Adskom	インドネシアのアドテクノロジー、マーケティングソリューション
 AQUA CONNECT	海産物養殖業者向けプラットフォーム	 INDOTRADING.com <small>Indonesia No. 1 Trading Portal</small>	インドネシアのB2Bビジネスポータル
bulkMRO	間接資材購買プラットフォーム	 iMoney.my	マレーシアの個人向け金融商品比較サイト
 Codingal	コーディングオンラインカリキュラム	 coins.ph	フィリピン大手のウォレット・ペイメントアプリ
		 Claim Di	タイの自動車事故査定アプリ

当社の過去ファンドによる主な「リード&シード・ポジション」戦略による投資実績(主な一部)は下記の通りです。比較的短期で高いマークアップ実績を、米国や中国、欧州等の有力インベスターからの出資成就により達成しています。

主要投資先

インドネシア総合Eコマース大手 **ブカラパク社**



初回投資日:2011年8月
当社現在持分割合 **2.4%**

インド病院向けサプライ大手 **メディカバザール社**



初回投資日:2017年4月
当社現在持分割合 **9.8%**

インド遠隔医療大手 **メディバディ社**

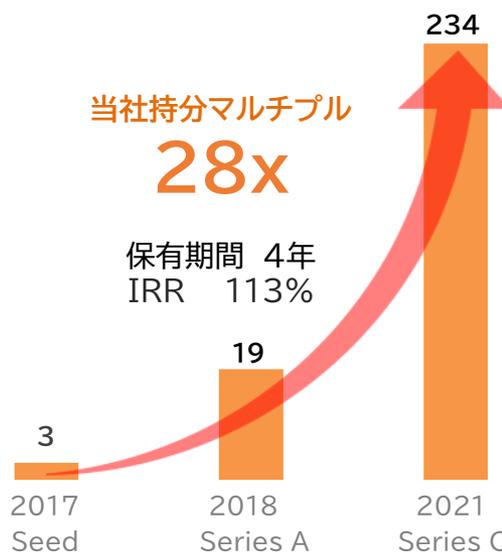
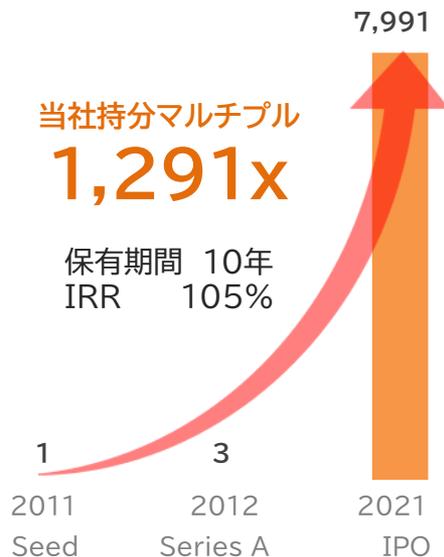


初回投資日:2016年2月
当社現在持分割合 **4.4%**

後続ラウンドの主要投資家



企業評価額推移 (ポスト単位: \$ミリオン)



※当社持分マルチプル、IRRは当社の初回投資分の現在価値でフォローオン分は除きます

シリーズC以降(時価総額 \$300M程度~)のレイトステージにおいて後続インベスターに売却するセカンダリー売却及びフルM&A売却が、インドを含めた新興アジア市場においては一般的なエグジット手法となります。最近ではハイテク企業によるIPOを増加しており、既に当社でも実績があり、現地市場においても一般的かつ増加しつつあるそれらのエグジット創成に努めます。

エグジット手段

当社実績

マーケット環境

セカンダリー売却

最も実現性が高く、実績あるエグジット方法。シリーズC以降において発行体および既存投資家、過去協調投資先、売却経験先等へ幅広く働きかけ実現。

投資先



買収者



機関投資家運用の大手ファンドによるセカンダリープレースメント買取り

アジア諸国ではユニコーン、デカコーン(兆円単位評価額企業)の社数増加にともない、その株式について大手ファンド、ITメガ企業等によるセカンダリー買取りが増えている。

現地ユニコーンへの売却

アジアのスタートアップ・エコシステムにおいて頻繁に発生している典型的な売却手段。

投資先



買収者



インドネシアのライドシェア及びペイメント最大手ユニコーン企業によるフル買収

インドのユニコーン、デカコーン(兆円単位評価額企業)、ならびにその候補たる数百億円台評価額の社数が増加しており、それらによる買収も増加傾向にある。

現地およびグローバル大企業によるM&A

アジアのスタートアップ・エコシステムにおいて非常に頻繁に発生している典型的な売却手段。

投資先



買収者



always get it right

オーストラリアの同業大手(同国証券市場上場)によるフル買収

2018年の全世界M&Aディール最高額がウォルマートによるインド最大手ECフリップカート社であった事に象徴される通り、国内外の大手企業によるスタートアップのフル買収はインドで増加している。

IPO

現地証券取引所・米国証券取引所に上場後、株式売却を行う典型的な売却手段。



インドネシア証取史上最大規模のIPO

現在までは本格的なユニコーンクラスのスタートアップによる国内IPOは未成熟でしたが、2021年度に政府も利益基準等の上場基準を緩和した事等により、ハイテク企業によるIPOラッシュが多数報じられる。

従来AI等の技術革新によりDXが進展してきましたが、現在それは世界各地で不連続な急伸を見せています。この流れは今後も長期的なメガトレンドとして継続すると考えられます。本ファンドではインドのDXを基本的な投資テーマとします。

DXの目的 (投資サブテーマ)

*DX:デジタル・トランスフォーメーション

自動化、効率化、無人化、リモート化、省コスト、省電力、環境保護、トレーサビリティ、社会問題解決、地方問題解決…etc.

DXが進む有望分野 (投資事業領域)

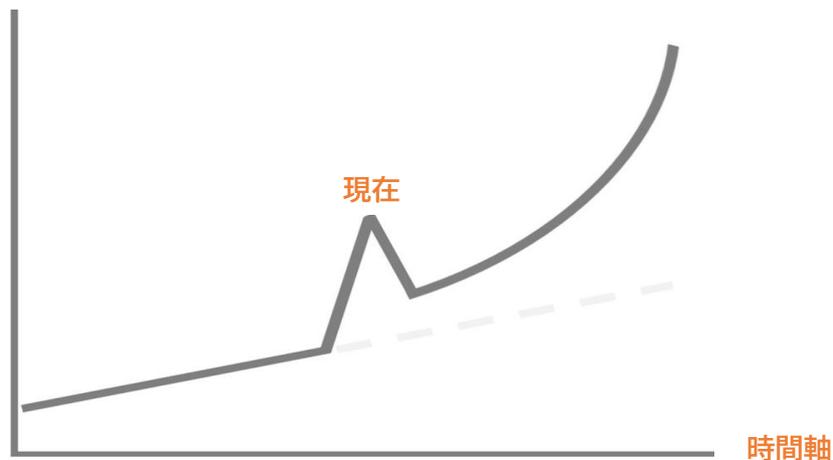
遠隔医療、リモート教育、リモートワーク、スマート農業、スマート・サプライチェーン、スマートシティ、スマート・マニュファクチャリング、無人倉庫、無人店舗…etc.

DXを具現化するテクノロジー (投資対象テクノロジー領域)

AI、クラウド、SaaS、RPA、IoT、5G、ブロックチェーン、MR (VR/AR)、クリーンテック、新素材、ロボティクス …etc.

COVID-19によるDXカーブのイメージ

DX進行度



“COVID-19によりこの2カ月で2年分のDXが起きた”
 — by マイクロソフトCEO サティア・ナデラ
 2020年4月29日決算説明会

【参考】弊社投資先のインパクト事例

貴機構の注力セクターにおいて、弊社はすでに以下のような投資先を有しており、同セクター及び他セクターにおけるスタートアップへの投資を今後も引き続き検討していきたいと考えております。

セクター	投資先社名	事業内容	社会インパクト
保健	 MediBuddy	モバイルアプリ経由の医療診断	・医療アクセスの向上
	 medikabazaar ...ProCure & Cure	病院向け購買プラットフォーム	・地方病院/診療所の能力向上
運輸	 LETS TRANSPORT	ラストマイル物流アグリゲータ	・個人事業主ドライバーの生活向上 ・物流効率向上、脱炭素
	 YOLO Fight on Wheels	都市間バス・アグリゲータ	・地方アクセスの改善 ・交通効率向上、脱炭素
農業	 aibono™	アグリテック 野菜サプライチェーン	・農業従事者の生活向上
	 AQUA CONNECT	海産物養殖業者向けソリューション 及びサプライチェーン	・養殖従事者の生活向上
人材育成	 VIROHAN Institute of health & management sciences	医療従事志望者向けの 学習コンテンツプラットフォーム	・医療従事者人材の育成、能力開発
	 Codingal	プログラミング学習のための コンテンツ及びコミュニティ	・高技能人材の育成開発



日本経済新聞

朝刊・夕刊 LIVE Myニュー

トップ 速報 オピニオン 経済 政治 ビジネス 金融 マーケット マネーのまなび テック 国際 スポーツ 社会・調査 地

リブライツパートナーズ、JICAとインパクト評価で協業

スタートアップ フォロー済み

2021年11月2日 10:00 (有料会員限定)

保存

共有 印刷 メール 複製 ツイート 共有

ベンチャーキャピタル (VC) のリブライツパートナーズはこのほど、同社が運用する新興国向けのファンドに国際協力機構 (JICA) から出資を受けた。同社はJICAと協業し、投資先が生ま出す社会や環境へのよりよい変化 (インパクト) を定量的に評価する。大企業の間でも社会の持続的な発展に寄与すべきだという意識が高まっている。インパクトを可視化することで、投資先が協業相手を見つけやすくなるといった効果も期待する。



(出典:JICA提供)

ファンド組合員を中心に日本企業に対してアジア・スタートアップのご紹介・連携支援に注力しており、現在まで下記の連携実績を有します。アジア・スタートアップに対しては日本の大企業紹介をアピールする事により優良案件に入り込み、結果ファンドのパフォーマンス向上に寄与しています。 また日本企業に対してはアジアの優良スタートアップのソーシング・連携ご支援により日アジア間のオープン・イノベーション活動に寄与しております。

日・アジア間オープンイノベーション繋ぎ役と
フィナンシャル・リターン追求の両立

日本大手企業紹介アピールによりグッド
ディールに食い込む事で、ファンドのパ
フォーマンス向上に寄与



アジア優良スタートアップのソーシング・連
携支援により日本企業のオープン・イノベ
ーションに寄与



資本業務提携



買収



資本業務提携



出資



出資/提携



業務提携



資本業務提携



資本業務提携



アジア・スタートアップ
当社支援

（ファンド組合員皆中心）
日本企業

インドのスタートアップ・エコシステムは世界第3位の規模を誇ります。またインド国外においても米国シリコンバレーやシンガポール、ロンドン等のテック産業において最も活躍する人種であり、それらはインド国内テック産業との活発な人的交流がなされています。またそのようなテック人材を求めて**グローバル大手企業は軒並みインドにイノベーション拠点を構えています**。

米中二大国に次ぐ
世界第3位の
スタートアップ大国

- 資金調達額 \$ 30B (約3.4兆円 ※2021年)
- ユニコーン社数 70社強
- 約100社超のユニコーン予備軍

出典: NVCA, Dow Jones VentureSource, IVC, Yourstory, TechinAsia, JVR, CrunchBase他

- アメリカトップVCが軒並み、古くから存在
- 米欧、中東、東アジアから世界各国の大手投資家も参入

世界のテクノロジー
産業で最も活躍する
インド人移民一世

・ 米国でユニコーンを起業した移民一世で最も多い人種はインド人
出典: 「インターネット・トレンドレポート」2018年版メアリー・ミーカー調査

robinhood	株式の売買サービスアプリ	Baiju Bhatt (共同創業者)	60	zenefits	人事管理クラウドサービス	Laks Srin	20
instacart	食料品デリバリーサービス	Apoorva Mehta	40	sprinklr	ソーシャルマネジメントプラットフォームの運営	Ragy Thomas	20
Bloomenergy	燃料電池の開発・販売	KR Sridhar	30	rubrik	バックアップ・アップライアンスの提供	Bipul Sinha	10
				actifio	データ仮想化システムの提供	Ash Ashutosh	10

・ 世界時価総額上位3社うち2社の経営者はインド人移民一世

グローバル大手企業の
イノベーション拠点

バンガロールに拠点を持つ主要グローバル大手企業

ソフトウェア、インターネット、IT機器

マイクロソフト、グーグル、アマゾン、オラクル、SAP、アドビシステムズ、HP、Dell、EMC、ネットアップ、アカマイ、イーベイ、インチュイット、ケイデンス、シノプシス、シトリックス・システムズ、ブイコムウェア、ペリサイン、マカフィー、リンクトイン

ITサービス、コンサルティング

IBM、アクセンチュア、コグニサント、キャップジェミニ、NTTデータ

半導体

テキサス・インスツルメンツ、インテル、クアルコム、AMD、エヌビディア、アーム、STマイクロ、ブロードコム

通信・ネットワーク機器、通信事業者

シスコシステムズ、ジュニパーネットワークス、ノキア、エリクソン、ファーウェイ、アパリア、AT&T、プリティシシュ・テレコム

金融

ゴールドマン・サックス、モルガン・スタンレー、JPモルガン・チェース、フィデリティ、ウェルズ・ファーゴ、オーストラリア・ニュージーランド銀行、ビザ、CMEグループ

その他

3M、エクソン・モービル、カーギル

電機、自動車、産業機械

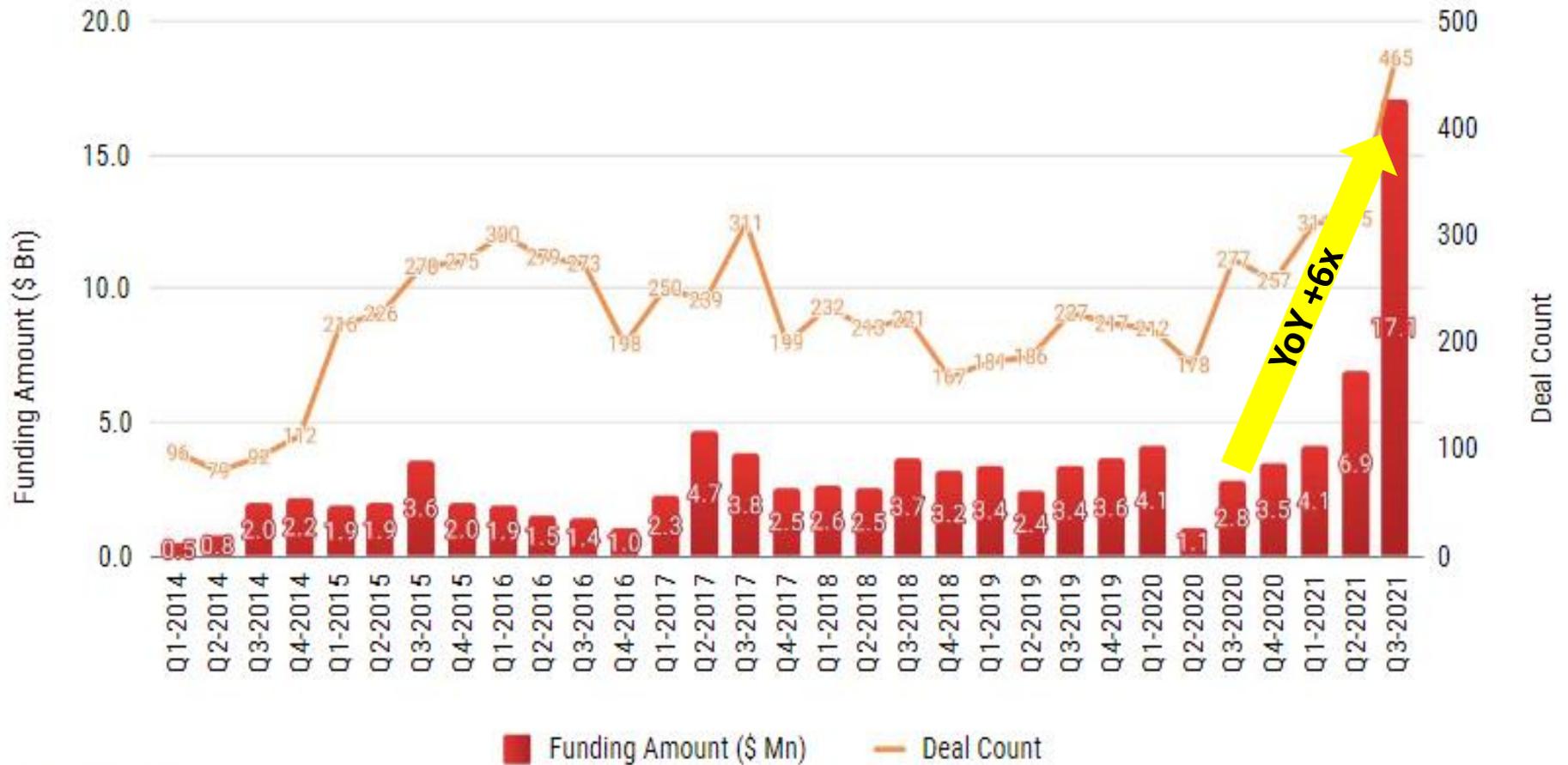
ソニー、東芝、フィリップス、サムスン、LG、ポッシュ、メルセデス・ベンツ、ハネウェル、GE、シーメンス、ボーイング、エアバス、ロールス・ロイス

小売

ウォルマート、ターゲット、テスコ、ピコトリアズ・シーグレット、ロウズ

出典: インドシフト 武鐘 行雄氏著

インドのスタートアップ資金調達額推移



Source: Inc42 Plus
Q3 2021 Data till 25 September 2021

© Inc42 Media | Not for Distribution

直近四半期の世界スタートアップ資金調達額トップ5

1. **Flipkart** — \$3.6B, Bengaluru, **India** — Retail — *Late-stage VC*
2. **Rivian** — \$2.5B, Irvine, US — Automotive — *Late-stage VC*
3. **Generate** — \$2B, San Francisco, US — Cleantech — *Late-stage VC*
4. **BYJU** — \$1.7B, Bengaluru, **India** — Edtech — *Series F*
5. **Databricks** — \$1.6B, San Francisco, US — Database software — *Series H*
5. **Svolt** — \$1.6B, Changzhou, China — Energy storage — *Series B*

74社のインド・ユニコーン

BharatPe	Chargebee	FirstCry	Freshworks
Mindtickle	Zeta	Lenskart	Mu Sigma
upGrad	Moglix	Grofers	MPL
coinDCX	BrowserStack	Glance, Inmobi	Apna
Zetwerk	Paytm	InMobi	Vedantu
Blackbuck	OYO Rooms	Dailyhunt	Licious
Droom	BYJU'S	Zenoti	CoinSwitch Kuber
OfBusiness	OLA Cabs	PhonePe	Rebel Foods
ShareChat	Swiggy	Cars24	CarDekho
PharmEasy	Zomato	RazorPay	MobiKwik
CRED	Paytm Mall	Unacademy	Acko
Meesho	Zerodha	Postman	The Good Glamm
Urban Company	ReNew Power	Pine Labs	Group
Infra Market	BigBasket	CitiusTech	Cure.fit
Digit Insurance	Udaan	Icertis	Mensa
Innovaccer	Ola Electric	Druva	
Five Star Business Finance	Mohalla Tech	Rivigo	
Groww	MakeMyTrip	Dream11	
Gupshup	Nykaa	Delhivery	
Eruditus	Policybazaar	Billdesk	

現在までインドでは本格的なユニコーンクラスのスタートアップによる国内IPO環境は未成熟でしたが、巨大化するスタートアップエコシステム側からの要請や、政府も利益基準等の上場基準を緩和した事等により、今年に入りIPOラッシュの可能性が多数報じられています。また、海外の証券取引所でも上場が可能になったこともあり、今後益々IPO市場は活況となる見込み。

	会社名	事業内容	上場国	IPO時想定時価総額
1	 zomato	フードデリバリー	インド	上場済み\$15B
2	 policybazaar.com Compare. Buy. Save.	保険商品比較サイト	インド	上場済み\$9B
3	 paytm	モバイル決済	インド	上場済み\$20B
4	 NYKAA.com	美容系Eコマース	インド	上場済み\$10B
5	 inmobi	モバイルアドネットワーク	米国	\$15B
6	 freshworks	クラウドビジネスソフトウェア	米国	米国上場済み \$4.5B
7	 flipkart	Eコマース	米国	\$35B
8	 DELHIVERY Small World	Eコマース物流	N/A	\$3.2~4B
9	 CarTrade.com	中古車オンラインプラットフォーム	インド	上場済み\$1B
10	 BYJU'S The Learning App	オンライン教育	N/A	\$18B

※その他多数

(出典:現地報道より作成)

インド・スタートアップのM&Aマーケットは既に世界でも上位クラスまで成長、成熟しています。グローバル大手、国内財閥系、ユニコーン企業などの買い手の層が厚く実際に下記の通り多数の高額M&A案件が成就しています。国内外の参入がますます活気付いており今後更なるM&A市場の成長が見通されます。

Flipkartの2兆円を筆頭に100億円前後の大型買収が多数

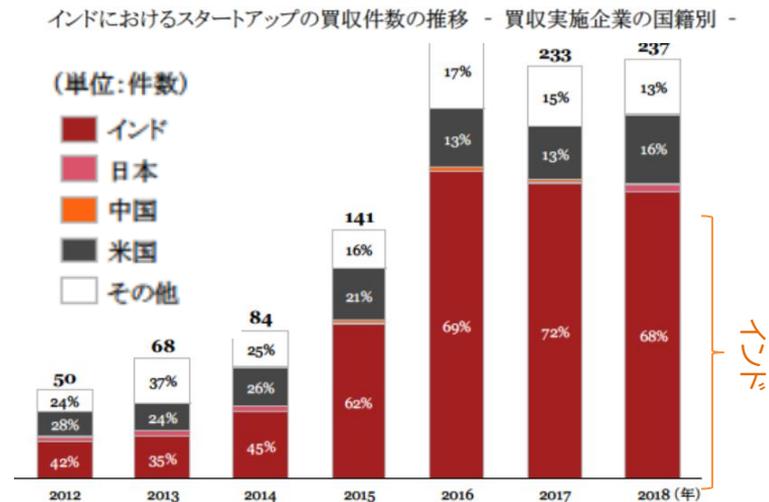
会社名	買収金額 (\$ミリオン)	買収日	買収者
Flipkart	20,779	2018年5月9日	米国ウォルマート
FreeCharge	450	2015年3月12日	Snapdeal
Myntra	343	2014年5月22日	Flipkart
CommonFloor	200	2015年10月8日	Quikr
TaxiForSure	200	2015年3月2日	Olacabs
Embibe	180	2018年4月13日	Reliance Industries
Citrus Payment	130	2016年9月14日	PayU (Naspers Group)
ItzCash Card	124	2017年5月24日	Ebix
redBus	100	2013年6月16日	Ibibo Group
Haptik	100	2019年3月29日	Reliance Jio
Hamleys	89	2019年5月10日	Reliance Industries
Radisys	74	2018年6月29日	Reliance Industries
Wibmo	70	2019年4月12日	PayU (Naspers Group)
Jabong	70	2016年7月26日	Myntra
Urbanspoon	55	2015年12月1日	Zomato

出典: Crunchbase

最大手通信会社リライアンスJioを傘下に有するリライアンス1社のみでスタートアップ買収に\$3ビリオンを過去3年で投じる



インド国内In-In型M&A件数が2014年から4年で約2.6倍と急増



出典: CrunchBase 社提供のデータベースを基に PwC アドバイザリー作成

インド最大財閥のタタは、ネットスーパー大手のユニコーン、BigBasketを1400億円評価で買収するとの報道が5月になされた。薬コマー্স大手の1mgも同様に買収の発表がなされている。

